

戦争と平和を考える

2013年夏

終戦・被爆特集番組

8/3 NHK総合（後 4:00）

「長崎 被爆からの復興」

* 被爆後の長崎。県や市は進駐軍の対応に追われ、復興は進みません。そんな中、復興は自分たちで立ち上がった市民たちが、ロープウェイ建設、被爆者支援の体制づくり、原爆病院の設立に奔走した姿を描きます。

NHKBSプレミアム（後 9:00）

「零戦～搭乗員が見つめた太平洋戦争（1）」

* 戦争初期、性能の高さが際だっていた「零戦」。米軍機の性能向上とともに、不利な戦闘を強いられ、ついには「特攻」にも使われます。特攻隊員の祖父を持つ俳優の染谷将太が、零戦の軌跡をたどります、

8/6 NHK総合（後 7:30）

NHKスペシャル「広島・長崎 終わりなき被爆との闘い」

* 原爆投下から68年の今、「第2の白血病」と呼ばれる病気で亡くなる人が増えています。「終わりなき被爆」の実態を探ります。

NHK総合（前 8:00）

「広島平和記念式典」

NHKラジオ①（後 9:05）

「原爆の日ラジオ特集～被爆者の日記は語りかける」

* 18歳で被爆した青年の日記を伝える活動を、現在84歳の妹が福島原発事故をきっかけに始めます。朗読を中心としたドキュメンタリードラマです

8/8 NHK総合（深夜 0:10）

「ヒバクシャからの手紙」

* 壮絶な体験の記憶を封印して生きてきた多くの被爆者。その思いを綴った手紙には、生き残った罪悪感や結婚・出産での苦しみも語られています。作家の田口ランディ、俳優の平岳大とともに、どうしたら体験を引き継ぎ核兵器のない世界を実現できるかを考えます。

8/9 NHK総合（前 10:40）

「長崎平和記念式典」

8/10 NHKBSプレミアム（後 9:00）

「零戦～搭乗員が見つめた太平洋戦争（2）」

8/12 NHK総合（後 10:00）

NHKスペシャル「忘れられた引揚げ者～終戦直後・北朝鮮の日本人」

* 終戦時、北朝鮮に30万人いた日本民間人。ソ連軍支配の中、自力で38度線を越えた人びとは多くが死亡するなど過酷な運命をたどります。新たに発見された資料と証言から、人びとの軌跡を探ります。

8/13 NHKBS1 (後 10:00)

「プロジェクト112 知らざれる米軍化学兵器開発」

*1960年代、米軍の化学兵器実験に参加した元兵士が健康被害の補償を求める裁判を起こします。発見された機密文書から、米ソの毒ガス開発の実態、沖縄が最大の貯蔵基地であることが明らかになりました。

8/14 NHKBS1 (後 10:00)

「戦火のダービー～時代に翻弄された騎手と馬」

*1943年、最年少のダービージョッキーとなった前田長吉は、天才騎手と呼ばれましたが、召集されレース復帰を果たせぬままシベリアで死亡します。前田の道のりと、戦時「活兵器」とされたサラブレッドの運命を追います。

NHK総合 (後 10:00)

「従軍作家たちの戦争～陸軍のメディア戦略」

*菊池寛、林芙美子ら多くの作家が従軍しました。このほど「麦と兵隊」で国民的作家となった火野葦平の従軍手帳の全貌が明らかにされました。戦後、戦争協力を批判されて命を絶った火野の軌跡を追い、当時のメディア戦略を浮かび上がらせます。

8/15 NHKBS1 (後 10:00)

「日本兵になったアメリカ人～祖国と戦った兵士たち(1)」

*戦前に来日していた日系アメリカ人の多くが、日本兵として戦地に赴きました。戦後はアメリカ国籍を剥奪されたり、国家反逆罪に問われたりします。

NHKラジオ① (後 9:05)

「日系人たちの沖縄戦～ハワイ 孫世代がみつめた戦争体験」

*日系3世のシャリー・タマシロさん(30)は、米兵として沖縄戦に参加した日系人の経験を聞きとり、沖縄で展示会を開きます。タマシロさんたち若い世代が発見する沖縄戦を伝えます。

8/16 NHKBS1 (後 10:00)

「日本兵となったアメリカ人～祖国と戦った兵士たち(2)」

8/24 NHK総合 (後 11:00)

「ドキュメンタリードラマ 基地アパート」

*原爆で焼け出された人たちのために建てられた広島市営アパートは、現在も3600戸がひしめいています。東京からアパートにやってきた小学生が、被爆者や中国残留孤児との交流の中で成長する姿を描きます。

*ここで紹介した番組は7月初めの時点で発表されているものの一部です。このほかにも良い番組が放映されると思います。新聞のテレビ欄に注意してください。